

奈弓連だより

通巻 198号

平成 30 年 8 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先 : henshu@narakyudo.jp

全日本男子弓道選手権大会・全日本女子弓道選手権大会近畿地域弓道連合会予選会 近畿代表枠を綿松選手、長濱選手が獲得

全日本男子弓道選手権大会・全日本女子弓道選手権大会近畿地域弓道連合会予選会が7月22日(日)に滋賀県立武道館弓道場において開催されました。近畿の6府県から男女それぞれ5名の代表選手が参加しました。競技は近的4射(一手2回)の合計得点と的中による予選通過者15名により近的6射の的中により争われ、男女それぞれ上位6名が近畿ブロックの代表選手として選出されました。

奈良県からは男子は吉本、綿松、長濱、藤岡、佐藤の5選手が出場し、吉本、綿松、長濱の3選手が予選通過。綿松昭寛選手、長濱正伸選手が近畿代表枠を獲得しました。一方女子は、松澤、松村、八木、白井、東中の5選手が出場し、松澤、松村の両選手が決勝に進みましたが、残念ながら選出されませんでした。

なお、今回実施された近畿地域弓道連合会の代表枠とは別に、男女各1名の地連代表枠が設定されており、5月27日に実施された県予選会で男子は吉本清巳選手、女子は白井礼子選手が地連代表として決定されています。(事務局)

失敗を怖がらず最後まで妥協しないという信念

近畿ブロック予選会で、近畿ブロック選出の6名に入り、本大会に出場させていただくこととなりました。憧れの大会に出場させていただくことを光栄に思うと共に責任の重さを痛感しています。すべての面でまだまだ実力不足ですが、奈良県予選・近畿予選を通じて『失敗を怖がらず最後まで妥協しない』ということを信念に臨んだことが良い結果につながったのではないかと考えています。本大会までの2カ月間、基本に立ち返って精進して参ります。(綿松昭寛)

1射1射後悔の無い様にとという思いで臨む

今回、近畿代表として選ばれたことを大変うれしく思うとともに、近畿代表として恥ずかしくない射をしなければならぬと気が引き締まる思いです。近畿ブロック予選では、近畿の強豪の先生方がいる中、近畿代表枠に入れる自信はなく、自分の今やることをやろう、1射1射後悔の無い様にとという思いで臨みました。結果、今回の成績に繋げる事がで

昇段おめでとうございます

ならでん(奈良市)弓道場で7月15日に開催されました奈良県臨時地連審査会において

山本悦子(奈良)さんが

四段に昇段されました。

おめでとうございます。

(事務局)

きたのかなとも思います。これから、本戦に向けて精進していきたいと思えます。皆様のご指導、よろしく願いいたします。(長濱正伸)

奈良県臨時地連審査

初段33名 弐段21名 参段3名 四段1名合格

7月15日に、ならでん(奈良市)弓道場において第276回臨時地連審査が行われました。結果は次のとおりです。

級位	受審者	22名	欠席	0名	合格	21名
		(1級18名、2級3名、現級1名)				
初段	受審者	36名	欠席	1名	合格	33名
弐段	受審者	25名	欠席	0名	合格	21名
参段	受審者	12名	欠席	0名	合格	3名
四段	受審者	14名	欠席	0名	合格	1名

審査員より以下の意見をいただきました。

- ・肘の収まりが悪く、また手の内がベタ押しの人が目についた。
- ・礼射系の人で、乙矢を持ち替える際に、間違った動作をする人が目についた。

(審査部 平木一史)

近畿指導者育成講習会

飯島範士講話：衰退の原因は慢心であり、反省と克己が大切

6月16・17日、滋賀県立武道館弓道場において平成30年度近畿指導者育成講習会が開催されました。〔主任講師：飯島正大範士八段、講師：小倉正樹範士八段〕受講生：34名(奈良県からは佐藤さん、西田さん、

乾さん、松澤さん、高倉さん、東中の6名が受講)

この2日間は、礼記射義・射法訓の唱和、矢渡の介添を受講生が担当し、主任講師より平成30年度指導方針の説明、一手行射、射技・射礼研修、評価シートを使った研修をするなど中身の濃い講習会でした。主任講師・講師先生方からは以下のような講評がありました。

介添：全体的に間違い等はないが、目線・息合い・動作の締め・手先まで気合いを入れる。そうすると見ている人に感動をあたえる。一手行射：大三の受渡しが大切。教本の言葉をよく理解し、凶解と自分の射を見比べる。自分の出来ていないことをしっかり自覚し稽古をする。射礼研修：息合いに合わせて動作をすることを心掛ける。

飯島先生は講話で【射の周期】についてもお話され「皆さんは何周されていますか？」と問いかけ、「出発点→伸び盛り時期→円熟期→全盛期→衰退期…とグルグルまわるもの、衰退期に伸び盛り期・円熟期を思い返し反省することで出発点に戻ることが出来る。衰退の原因は慢心であり反省と克己が大切なのです」とお話しになりました。初心を忘れず素直に自分と向き合うことの大切さを改めて感じました。指導者としてはまだまだ未熟な部分が多くあります。講習会での経験をこれからの県・支部に貢献出来るように努力していきたいと思いました。

(受講生代表 東中千佳)

第2回伝達講習会開催

学校弓道指導者向け指導方針等の伝達

6月30日(土)13時30分より檀原公苑弓道場に於いて、標記の講習会が行われました。学校指導者対象で教職員大会終了後、17名が参加されました。

はじめに吉本清巳主任講師から第1回伝達講習会伝達事項に加え、学校弓道指導者向け指導方針も交え報告頂きました。

続いて一手行射の後、相互研修で前方、後方、背面から、三重十文字やねらいを中心に、お互い指摘し合う研修を行いました。相互研修では①修正はその都度しっかり、はっきりと伝える。②良い時は口に出して褒める。③射手に自覚と自信をもたす。以上三点を心がけました。

最後に坐射の体配を復習しつつ、一手行射を行い閉会しました。

暑い中、大会後でお疲れだったと思いますが、全員真剣に取り組んでいただきました。実際の指導に役立つ講習会になりました。

各学校に戻られ、指導方針に基づいた指導をお願いいたします。

(指導部 松村由喜子)



第2回伝達講習会で、真剣に相互研修を行う参加者

近畿高等学校弓道大会

女子団体の部：郡山高校が優勝

男子団体の部：檀原高校が3位入賞

男子個人の部：堀内選手(畝傍)が2位入賞

7月21,22日に檀原公苑弓道場において、第71回近畿高等学校弓道大会が開催され、男子・女子それぞれが個人戦及び団体戦を競いました。奈良県勢の結果は次の通りです。

個人戦

予選は8射5中以上で通過。

男子：奈良県から10名参加し、5名が予選通過

決勝射詰め

堀内大輝(畝傍)	〇〇〇〇×
松田遼大(郡山)	〇〇×
西谷永(檀原)	〇〇×
岩井郁也(五條)	〇×
新野竜也(郡山)	〇〇×
堀内大輝(畝傍)	は2位入賞。



個人の部で2位入賞した畝傍高校の堀内大輝選手(右から二人目)

女子： 奈良県から 10 名参加し、4 名が予選通過
決勝射詰め

芳田小都希 (畝傍) ×
吉田実莉 (平城) ○○×
足立優花 (奈良北) ○×
樽井 風 (奈良) ×

団体戦

競技は、5 人立、予選では各自 4 射、チーム 20 射。
20 チームが参加し、上位 8 校が予選通過

男子： 奈良県から 4 校が参加し、2 校が予選通過

橿原高校 13 中通過

高橋優介・尾井響涼・辻井寛己・江川真基・
西谷永・山本大成

榛生昇陽高校 14 中通過

白井辰季・常岡克史・乾督孝・中島冨介・
鍵谷悠喜・中辻良紀

決勝トーナメント

1 回戦

榛生昇陽 11 中 対 三田学園 (兵庫) 16 中 負け

橿原 10 中 対 彦根翔西館 (滋賀) 9 中 勝ち

準決勝

橿原 13 中 4 中 4 中 対 岸和田市立産業 (大阪)

13 中 4 中 5 中 負け

橿原高校が 3 位入賞。



団体の部で 3 位入賞した橿原高校の選手達

女子： 奈良県から 4 校が参加し、1 校が予選通過

郡山高校 13 中通過

植木鈴華・笠原涼子・井上美風衣・堀口なつ・
甲谷ひより・田島里紗

決勝トーナメント

1 回戦

郡山 9 中 対 明石商業 (兵庫) 7 中 勝ち

準決勝

郡山 13 中 対 神島 (和歌山) 8 中 勝ち

決勝

郡山 13 中 4 中 対 大阪学院大学 13 中 0 中 勝ち

郡山高校が優勝。



団体の部で優勝した郡山高校の選手達

(高体連 藤村佳照)

全国高等学校総合体育大会 全国高等学校弓道大会 芳田選手(畝傍高) 女子個人で5位入賞

8 月 2 日～5 日に静岡県袋井市エコパアリーナ特設弓道場で平成 30 年度全国高等学校総合体育大会第 63 回全国高等学校弓道大会が開催されました。

女子個人戦で芳田 小都希選手(畝傍高)が決勝に進み 5 位に入賞しました。

個人戦、団体戦の結果は次の通りです。

個人戦

(予選 4 射 3 以上通過・準決勝 4 射 3 中以上通過・
決勝射詰め)

男子 堀内 大輝 (畝傍)

予選 4 射 3 中 (通過)

準決勝 4 射 2 中

鍵谷 悠喜 (榛生昇陽)

予選 4 射皆中 (通過)

準決勝 4 射皆中 (通過)

決勝射詰 ○○○×

女子 芳田 小都希 (畝傍)
予選 4射3中 (通過)
準決勝 4射皆中 (通過)
決勝射詰 ○○○○×
(遠近法により5位入賞)

吉田 実莉 (平城)
予選 4射3中 (通過)
準決勝 4射3中 (通過)
決勝射詰 ○○×



全国高等学校弓道大会の女子個人戦で5位に入賞した畝傍高校の芳田小都希選手(大前)

団体戦

(1人4射・チーム20射 上位32校通過 決勝トーナメント制)

男子 平城高校 (足立 拓馬・藤岡 晋平・岡本 寛貴・久保田 直樹・廣田 宥斗・田次 詠一)

予選 20射14中 (通過)

決勝トーナメント1回戦

9中 対 中京(岐阜) 10中
敗戦

女子 郡山高校 (植木 鈴華・笠原 涼子・井上 美風衣・堀口 なつ・田島 里紗・甲谷 ひより)

予選 20射11中 (通過)

決勝トーナメント1回戦

12中 対 吉田(山梨) 13中
敗戦

(高体連 藤村佳照)

全日本教職員弓道選手権大会に出場して

8月9日から4日間、新潟市鳥屋野総合体育館弓道場で開催された第49回全日本教職員弓道選手権大会に奥田、中西、矢野で出場しました。この大会は初日に研究協議会や開会式、レセプションがあり、2日目と3日目で予選と決勝、最終日に特別教員臨時中央審査が行われます。私達は9日の夜に現地入りし、翌日の予選からの参加でした。

初日の団体予選は12射8中で予選を通過し、上位16チームで行われる決勝トーナメントに駒を進めることができました。翌日の1回戦では同中競射の末、辛くも勝利しましたが、次の準々決勝で敗退しました。昨年男子団体が準優勝だった西浦先生から、「奈良県勢の団体優勝がまだないので、是非とも優勝を。」と激励して頂いたのですが力及ばずでした。なお、同じく出場した平木、松本、井戸上チームは残念ながら予選敗退でした。

来年は節目の50回大会が仙台にて行われます。今年は奈良県から団体2チームが参加しましたが、より多くの人数で参加できたら良いと思います。

(教職員 矢野有吾)

編 | 集 | 後 | 記

7月22日の全日本近畿弓道選手権大会近畿予選会で綿松、長濱両選手が健闘され、代表枠を獲得されました。本大会での健闘をお祈りします。

全国高等学校弓道大会では女子個人戦で畝傍高校の芳田選手が5位に入賞されました。おめでとうございます。

5月から7月にかけて近畿地区指導者講習会、近畿指導者育成講習会、第1回～第3回の伝達講習会と重要な講習会が開催され、その報告を本紙6月号以降で、指導部の皆様にしていただきました。是非参考にしてください。

今号では、東中さんが近畿指導者育成講習会の報告をされていますが、飯島先生の講話で【射の周期】についてのお話は興味深く読ませていただきました。まさに衰退期にあり、これは加齢のせいだと諦めながら稽古している自分にとり、「衰退の原因は慢心であり、反省と克己が大切なのです」との厳しいお言葉。大いに参考になりました。

なお、第2回伝達講習会、近畿指導者育成講習会の報告は折角7月に受け取っていながら、編集部の手不届で、今号での掲載となりました。お詫びします。

編集担当 野尻賢司